

NPO 法人アートインライフ 出展企画

ペパピポロボット PR タイム～夢のホームロボを世界に広めよう！～

●ワークショップ概要

3枚の紙と輪ゴムで作るペパピポ人形を使い、家庭で役に立つ手の長いロボットを考えます。親子や友人で2人組みになり、自分と相手の欲しい機能を組み合わせて作る「多機能ホームロボ TENAGA1号と2号」。完成したら、奥のスタジオから機能や開発秘話を世界に向かって紹介してもらいます。(実際に放送はしません)

●メッセージ

相手の気持ちを考えながら工作し、作ったものを紹介する“ドラマート”(造形活動+表現活動)のワークショップです。自分と相手のして欲しいことを想像しなければロボットは完成しません。他の人とのコミュニケーションや考え方の違い、目的意識を持って想像する体験ができる創造的な活動です。作った人形は持ち帰れます。

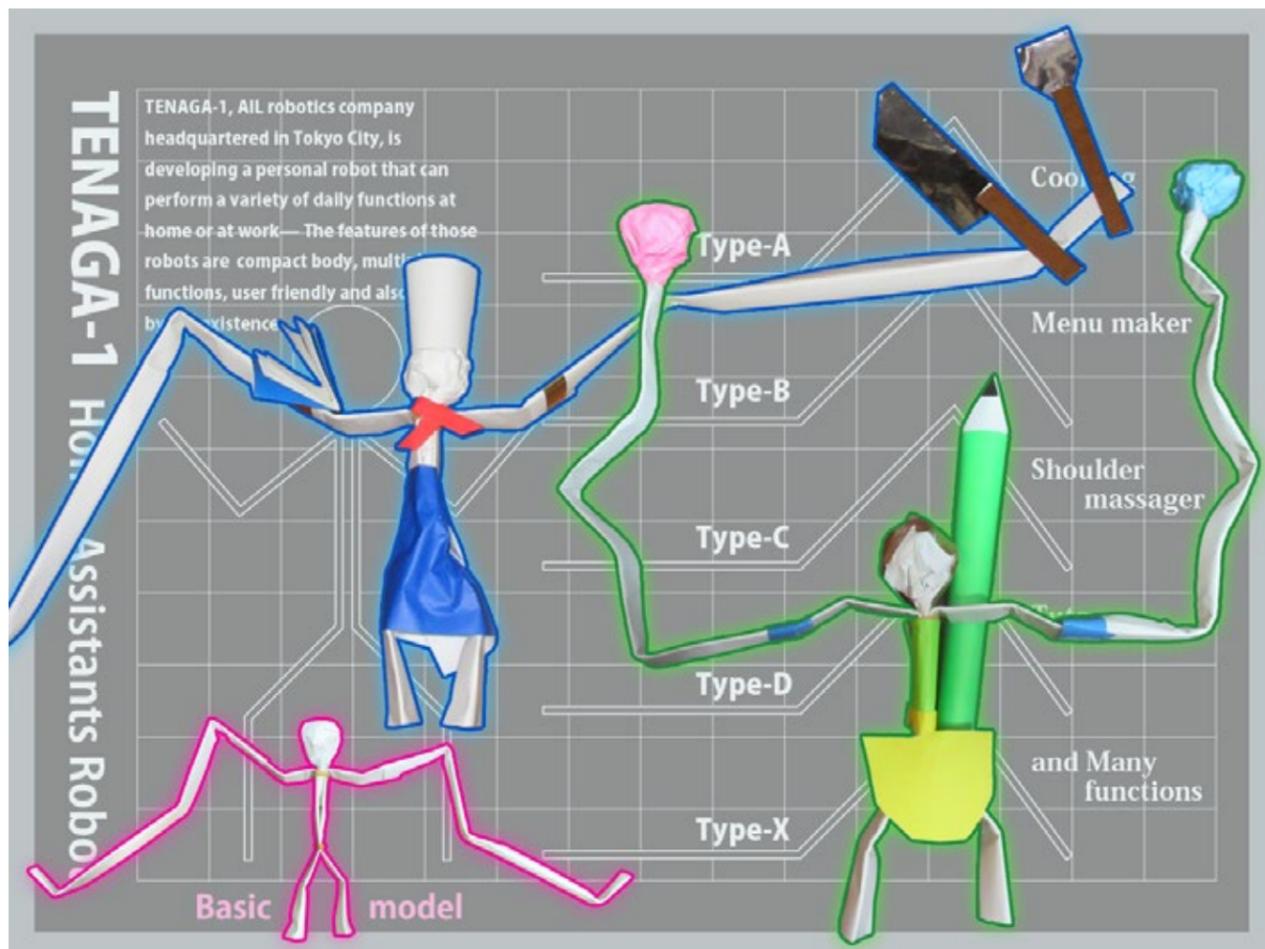
●会場：新南平台東急ビル 4F

●8日29/30日(土/日)9:30~17:00

●2日間で6万9000人が参加

●随時参加制

●対象年齢：4才~12才(4-5才は親子同伴)



■ワークショップの流れ

必ず2人組で参加。 友達同士3人。 子ども2人と保護者の3人もOK。
(1人の場合はスタッフが組の相手になる)

■ペパピポロボのベース作成

5枚の紙(A4)を渡し手の長いペパピポロボのベースを作成。

- ・5枚の紙をくしゃくしゃに丸めてまた延ばす。
- ・1枚の紙を2分して片方を固く丸める。もう片方でつつんで頭を作る。
- ・2枚の紙の短辺を4回おろす。手足・胴体になる。肩に折り目を入れる。
- ・胴体2枚で頭をはさんで輪ゴムで胸の所を止める。 もう一本の輪ゴムで腰を止めて足を折る。 肘、膝などにも折り目を入れる。
- ・残り2枚で手長部分を作る。2枚の紙の長辺を4回おろす。 手長の間接は適当に入れる。
- ・手長部分を手の先にテープでとめて素体完成。

■ホームロボットの機能を考えて作る

- ・プロジェクトシートに助けて欲しい能力を考え、「能力1」に記入してもらう。
- ・「能力2」には相手が考えた能力を記入。「その他の能力」や「ロボの名前」なども思いついたら書いてもらう。
- ・おりがみ、セロハン、テープなどでロボットの特徴を表現する。

■ホームロボットの紹介

- ・完成したらプロジェクトシートに決まっていなかった名前などを追加記入。
- ・1~2組そろったら、TVスタジオ内に誘導。
- ・ジングルを鳴らし、インタビュー開始。
- ・「ペパピポロボット PR タイムの始まりです。夢のホームロボを世界に広めよう! ということで開発者の方に来ていただきました」……
- ・開発者の名前、ロボの名前や能力、アピールポイントなどを聞く。
- ・実際に能力を発揮する場面を演じてもらったりもする。1組2~3分程度。
- ・「紹介したロボが欲しい方はこちらまで連絡してください」と言ってインタビューを締める。
- ・ジングルを鳴らし終了。作ったロボは持ち帰り。





■活動報告

■参加者

ブースに立ち寄った人の総数は約 280 人。実際に WS に参加した人は 135 人ぐらい。(1 日目 55 名 2 日目 80 名ぐらい) 内、保護者は 3 割弱。子どもは 100 名ぐらいと思われる。子どもは 3 才～ 10 才。参加パターンは、親子 1 人 親子 2 組 4～5 名 友達 2・3 人、など。1 人での参加が去年より多いと感じた。また、日曜日は父子連れが多かった。

■参加時間

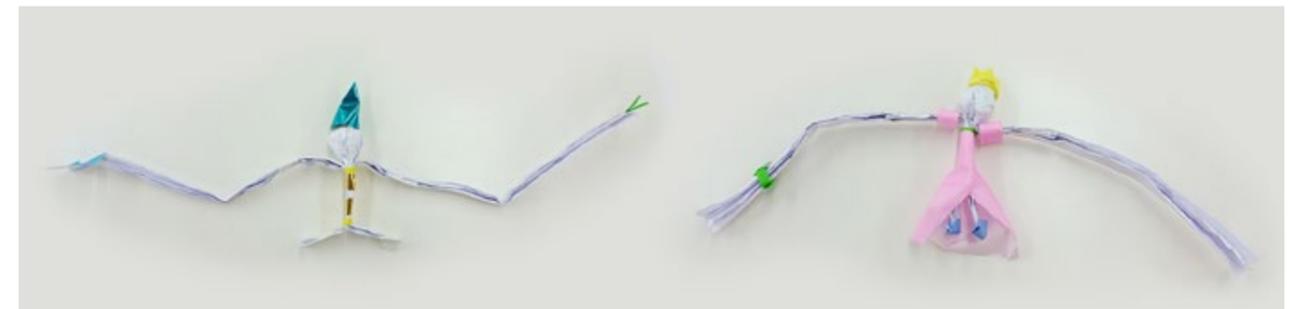
9 時半開館だが始めの参加者がくるのが、30 分程度してから。ピークは昼前と 15 時以降。多い時は 5～6 グループ同時進行。14 時頃に人波がひく時間あり。

■参加状況

これを目指してきた子はいないようでしたが、立ち寄って興味を持ってくれた子は結構いたと思います。隣のキャンドル作り(有料 500 円)の次に来てくれた子。上の子がキャンドルに行っている間に下の子ときてくれた親子もいました。いずれにしても作り始めてからはみんな楽しく没頭してくれました。最初は作ることも渋っていた子が、さんざん作り込んで愛着あるロボに仕上げた子もいました。

■発表

ロボット紹介は随時行ないました。ジングルを鳴らすと作成中でも顔を上げて、関心を見てくれる子も多かったです。スタッフは拍手やリアクションをとって発表を盛り上げました。最初からやる気で発表が楽しくて元気に発言する子も多く、他の人の発表をみてやる気になった子もいました。発表が恥ずかしい子は記念写真だけとるということでスタジオに入ってもらいました。うち何人かはインタビューのまねとかしながら実際に発表の形に持っていきました。子どもの発表の後、母親同士で発表してくれたり、両親と子どもの組みで、お母さんが一番乗り乗りの発表をしてくれたり様々な人が楽しんで発表してくれました。



ART IN LIFE

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-14-17 アルテール新宿 1110 TEL.03-5338-7927 FAX.03-5338-7926 mail.info@artinlife.jp